

農林水産業費

不用額の内容は

田中委員 農業振興費と農業再生協議会費での不用額の内容を問う。

農林主幹

国・県の補助事業への要望に対して、採択数が少なかったことや、事業の見直しにより、事業そのものが縮小したことなどが要因である。



家族総出で自然乾燥

地産地消促進事業の成果は

小口委員 学校給食での町内産農産物の使用割合と民間委託後の対応は。

教育次長

食育推進計画の重量ベース目標30%に対し37%の実績。民間委託業者には食育推進計画の目標数値のクリアを仕様書で規定している。

6次産業化事業の実績は

小口委員 期待度が高い6次産業化事業の実績と課題は。

産業振興課長

26年度はトマトの加工販売などの3件の事業に対し助成を行った。零細な家族経営の中での6次化は数量面・販売面

で限界があり、産業として成り立つ仕組みも事業と合わせて検討していく。

商工費

真夏開催の産業フェアの成果は

笹原委員 前年とは違い、産業フェアの開催時期を8月にしたことと、場所をあゆーむに移したことの成果を問う。

産業振興課長

子供の集客を考え夏休み時期にしたことや、あゆーむの機能を十分に生かして、新たに「我が家のお宝展」などを開催し、一か所ですでたことは有意義であった。26年度の反省を踏まえ、27年度は開催時間の工夫をしている。

観光協会の事業内容は

石川委員

観光協会に対する委託金、交付金により実施された事業の内容を問う。

産業振興課長

観光4シーズン化事業として、「春はサクラ、夏はベニバナ、秋はアユ、



子供達も興味津々

冬は隠れ蕎麦屋のしらかへ」をキャッチフレーズにした取り組みをしている。それぞれのイベントでは多くの集客があった。また、観光協会振興交付金は、協会職員の人件費等である。